2019年度ミュージアムイベント　全て参加費無料

山ノ内磐水と玄如節
玄如節は民謡「会津磐梯山」の歌詞の元歌といわれる古い民謡です。
玄如節顕彰碑建立20周年と山ノ内磐水翁碑建立10周年を記念して開催します。各地の民謡と合わせて玄如節をご鑑賞ください。
6月15日(土) 13:30〜15:00　会場／エントランスホール
出演：玄如節顕彰会ほか

会津磐梯山・市民盆踊り
盆の中日。閉館後のけんぱく前庭で、会津磐梯山の音色に
合わせて踊りながら、先祖を偲びましょう。
8月15日(木) 19:00〜20:30　会場／前庭
共催：会津磐梯山盆踊り保存会

ナイトミュージアム
今年もやります人気企画ナイトミュージアム！
真っ暗なけんぱくを懐中電灯だけで探検！
昼間は見えない何かが見えるかも？
8月24日(土) 17:30〜18:30　会場／総合展示室
要申込(定員80名)

Coderanniコンサート
「Coderanni(こでらんに)」の皆さんによるコンサート。
休日の昼下がり、様々な楽器や歌の魅力的な
ハーモニーを楽しんでみませんか。
9月16日(月・祝) 13:30〜15:00　会場／講堂
出演：会津室内楽団「アンサンブル・Coderanni」

親子でやすらぐ子守唄コンサート
子どもたちに大人気の子守唄コンサート。
みんなが大好きなあの唄、一緒に歌いませんか。
10月17日(木) 10:00〜11:30　会場／講堂
出演：NPO法人 日本子守唄協会 要申込(定員200名)

けんぱく映画会
けんぱくが1日だけの映画館に。歴史や美術にかかわりのある
映画のなかから、オススメの1本を上映します。
10月20日(日) 13:30〜　会場／講堂

会津の彼岸獅子
会津の春の風物詩・彼岸獅子。お彼岸を前に一足早く、
会津の彼岸獅子がけんぱくに春を連れてきます。
3月8日(日) 13:30〜15:00　会場／エントランスホール
出演：本滝沢獅子舞保存会

福島県立博物館では、その他にも、楽しく福島を学び、体験できる講座、
実演等を多数開催しています。　＊ 詳細はホームページをご覧ください。
表紙：天王壇古墳出土ウマ形土製品／本宮市立歴史民俗資料館蔵

2019年度福島県立博物館利用案内

●開館時間／9:30〜17:00(最終入館は16:30まで)
●休 館 日 ／毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は火曜日)
祝日の翌日(土・日にあたる場合は開館)
ただし、8/13(火)・9/24(火)・10/23(水)・2/12(水)は開館
6/18(火)・12/10(火)は館内整備のため休館
12/28(土)〜1/4(土)は年末年始休館日
●常設展観覧料／一般・大学生：270円(20名様以上の団体の場合は210円)
高校生以下：無料
※こどもの日5/5(日)、県民の日8/21(水)、敬老の日9/16(月)、文化の日11/3(日)は、すべての方の常設展観覧料が無料です。
※学校教育に基づく活動として観覧する場合の大学生および引率者、公民館等の団体は、事前の申請(観覧日の3日前まで)により、常設展料金の減免措置が受けられます。観覧料免除申請書は当館ホームページよりダウンロードの上ご利用ください。

●企画展等観覧料 ※(　　)内は20名以上の団体料金

展覧会名	企画展 とりもどすすぎずな つながるみらい	企画展 興福寺と会津 —徳一がつないだ西と東—	企画展 あにまるず ANIMAL×Zoo —どうぶつの考古学—	特集展 震災遺産を考える
一般 大学生	500円(400円)	一般・大学生・専門学校生 1300円(1000円)	700円(560円)	無料
高校生以下	無料	高校生800円(640円) 小中学生無料	無料	無料

※興福寺展は前売り券を販売します　一般・大学生：1000円　高校生：640円

●年間パスポート／有効期限：ご購入日より1年間　料金：1500円
販売場所：福島県立博物館受付カウンター
※当館の常設展・企画展を何回でもご覧いただけます。(企画展は福島県立博物館主催のみ有効)
※パスポートのご使用は氏名欄に署名されたご本人に限ります。他人へ譲渡または貸与することはできません。
●友の会／友の会にご入会いただきますと、『友の会会報』『博物館だより』等、催し物案内の送付などの特典が受けられるほか、古文書愛好会や化石・鉱物探検隊などのサークル活動にご参加いただけます。
●レストラン　営業時間：9:30〜16:30
※博物館開館日のみ営業



■会津若松駅から約3km　タクシーで約10分
■会津若松駅から　まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分（鶴ヶ城三の丸口下車すぐ）
まちなか周遊バス「あかべぇ」で約30分（鶴ヶ城三の丸口下車すぐ）
●車椅子使用者用駐車場 博物館西側「鶴ケ城三の丸」バス停そば：2台
一般駐車場内博物館入り口側：2台　※ご不明の点はお問合せください。

福島県立博物館 Fukushima Museum
お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986
〒965-0807　会津若松市城東町1-25
HP https://general-museum.fcs.ed.jp
e-mail　general-museum@fcs.ed.jp

県 けんぱく 博

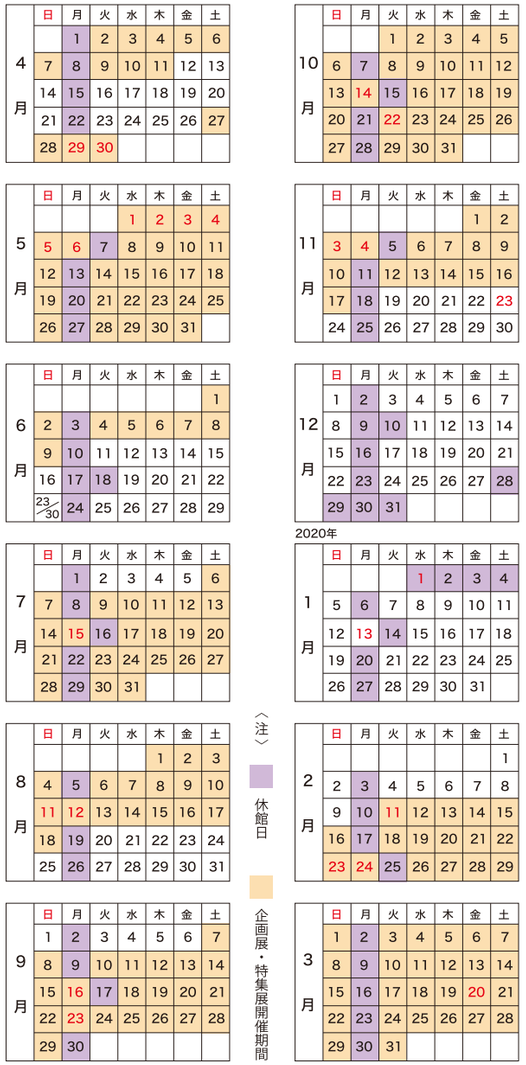
Exhibitions and Events of FUKUSHIMA MUSEUM on 2019

2019年度
催し物案内



福島県立博物館
Fukushima Museum

2019〜2020 カレンダー



企画展

とりもどすすぎずな つながるみらい	4月27日(土)〜6月9日(日)
興福寺と会津 —徳一がつないだ西と東—	7月6日(土)〜8月18日(日)
あにまるずANIMAL×Zoo —どうぶつの考古学—	9月7日(土)〜11月17日(日)

特集展

震災遺産を考える	〜2019年4月11日(木)
震災遺産を考える	2020年2月11日(火・祝)〜4月12日(日)

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月

2020年

企画展示室

企画展・特集展

春の企画展

とりもどすきずな つながるみらい

会期：4月27日（土）～6月9日（日）

東日本大震災後の被災地で行われた文化芸術による支援活動は、
被災者・被災地と支援者・全国をつなぎ、復興に向かう福島の大きな支えでした。
本展では、震災直後から活動を開始し、
現在まで変容を重ねながら継続、発展しているアートプロジェクトをご紹介し、
2011年以降に生まれた交流を未来に届ける場とします。
作品制作に参加できるワークショップ等も開催。
みなさんの手できずなを未来につなげてください。



プロジェクト FUKUSHIMA！
大友良英、山岸清之進、and more



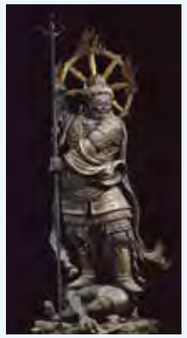
HEART MARK♡VIEWING
日比野克彦

夏の企画展

福島復興祈念展

興福寺と会津～徳一がつないだ西と東

会期：7月6日（土）～8月18日（日）



四天王像のうち広目天（東金堂）
（興福寺蔵、国宝）©飛鳥園



四天王像のうち増長天
（勝常寺蔵、国重文）
撮影：藤森武

平安時代初期に奈良の興福寺より会津に訪れ、
仏教文化を根付かせた僧・徳一。
本展では徳一がつないだ縁をもとに、
興福寺の寺宝の数々と、会津の仏教美術をご紹介します。
度重なる災厄を乗り越えて守り伝えられ、
人々の祈りが託されてきた仏教美術。
その信仰や魅力をわかりやすくお伝えします。
ぜひご覧ください。
主催：興福寺と会津展実行委員会

秋の企画展

あにまるず —どうぶつの考古学—

ANIMAL×Zoo

会期：9月7日（土）～11月17日（日）

人と動物。人も動物。みんなケンメイに生きている！
動物たちは人の暮らしになくてはならない存在です。
太古の昔から、人は動物のいのちを受け継ぎながら、
あこがれやおそれのまなざしも向けてきました。
本展覧会では、縄文時代から古墳時代の骨や角の道具・
狩りの文様・動物形土製品や埴輪などを紹介します。
人と動物のかかわりは時代を映すカガミです。
動物に生かされ、動物を活かした祖先の世界に
考古学から触れてみたいと思います。



天王壇古墳出土ウマ形土製品（本宮市立歴史民俗資料館蔵、県重文）

特集展

震災遺産を考える

会期：2020年2月11日（火・祝）～4月12日（日）

当館は2014年度から震災遺産の展示等を通じて
震災を振り返る機会としてきました。
東日本大震災から9年目となる本特集展では、
保全活動を続けてきた成果として
新しく加わった資料をご覧いただきます。
子どもたちが震災を知り、日頃のそなえを見直す機会として、
また自分事として考えられるように体験講座なども開催します。
震災遺産を通じて、未来を考える場となればと考えています。



前年度の防災講座の様子



牛が空腹のため食んだ牛舎の柱
（南相馬市）

テーマ展

テーマ展

うるわしのうるしのうつわ—土の中から—

会期：5月19日（日）まで
展示場所：部門展示室 考古

縄文の昔から人々のくらしの中に息づいてきた漆。
国指定重要文化財の三島町荒屋敷遺跡出土品
（縄文晩期・当館寄託）をはじめ、人知れず土の中に
うもれていた、うつくしく輝く漆工芸品の
数々を紹介します。



荒屋敷遺跡出土漆塗り鉢
（三島町教育委員会蔵、当館寄託、国重文）

テーマ展

いいたてミュージアム

会期：4月13日（土）～6月23日（日）
展示場所：部門展示室 歴史・美術

2011年に全村避難となった飯舘村の支援団体
「いいたてまでいの会」が、飯舘村の人々の声、
飯舘村の暮らしや歴史を伝えるモノを収集して
きた「いいたてミュージアム」。近年当館に寄贈と
なった収集品から一部を
ご覧いただきます。



いいたてミュージアム
スズメバチの焼酎漬（当館蔵）

テーマ展

大須賀清光の土津神社図・円蔵寺図屏風

会期：9月7日（土）～10月14日（月・祝）
展示場所：部門展示室 歴史・美術

2016年に新たに発見された
若松城下の町絵師・大須賀清光の作品。
出光文化福祉財団による助成をうけて
よみがえったその姿を、初めて一双そろえて公開します。



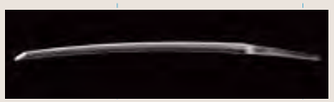
円蔵寺図屏風
（当館蔵）

テーマ展

けんぱくの宝2019－武の美

会期：10月19日（土）～12月8日（日）
展示場所：部門展示室 歴史・美術

けんぱく収蔵の美術資料から選りすぐりを
ご紹介するテーマ展「けんぱくの宝」。
2019年度は、会津の刀匠の刀剣やコレクターが
収集した鍔など「武の美」をご覧いただきます。



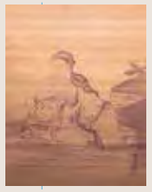
刀 銘 会津刀匠和泉守兼定（個人蔵、当館寄託）

テーマ展

祈りのふくしま３

会期：12月14日（土）～2020年2月2日（日）
展示場所：部門展示室 歴史・美術

人々の多様な信仰は型にはまらない
尊像や造形を生み出してきました。
今回の「祈りのふくしま」では、
仏教美術に見られる実は
ふしぎな、ちょっとおかしな
祈りのかたちをご紹介します。



維摩図（部分・当館蔵）
加藤遠澤 筆

テーマ展

山口弥一郎のみた東北

会期：2020年2月8日（土）～3月29日（日）
展示場所：部門展示室 歴史・美術

名著『津浪と村』の著者として知られる
会津生まれの地理学者・民俗学者、
山口弥一郎（1902-2000）。
彼の遺した膨大な資料の
整理事業の成果から、
その研究の全貌に迫ります。



『津浪と村』と山口弥一郎の調査ノート

常設展示室

ポイント展

桧枝岐の歌舞伎衣装　4月2日（火）～5月15日（水）部門展示室 民俗

元号改元の今と昔　4月6日（土）～5月31日（金）総合展示室 近・現代

戦国武将の花押と印判①—伊達政宗　4月20日（土）～6月23日（日）総合展示室 中世

三葉虫の不思議　4月27日（土）～6月21日（金）展示ロビー

型をつくる・型からつくる　5月17日（金）～7月10日（水）部門展示室 民俗

会津の経塚—500年前のタイムカプセル　5月18日（土）～8月18日（日）総合展示室 古代・中世

松平容大夫人の白衣観音図　6月29日（土）～8月30日（金）総合展示室 近・現代











奥会津の外套
「カンゼンプシ」

暮らしと麻　7月12日（金）～9月4日（水）部門展示室 民俗

戦国武将の花押と印判②—蘆名盛氏　8月24日（土）～10月27日（日）総合展示室 中世

戊辰戦争をくぐりぬけた刀　8月31日（土）～11月1日（金）総合展示室 近・現代

罠（わな）—栗城弥平民具コレクション—　9月6日（金）～11月27日（水）部門展示室 民俗

相馬藩主の御料理番—魚や鳥を調理する作法　9月14日（土）～11月17日（日）総合展示室 近世

斎藤一と会津　9月14日（土）～9月23日（月・祝）総合展示室 近・現代

いわきの石炭をつくった植物たち　9月14日（土）～10月18日（金）部門展示室 自然

古い道具と昔のくらし—つくる・きる・あらう—　11月29日（金）～2020年3月4日（水）部門展示室 民俗







部門展示室 民俗　**雪国・会津の暮らしと祈り**　4月2日（火）～　展示場所：部門展示室 民俗

衣食住をはじめとした暮らしのなかの多彩な文化、樹皮や蔓（つる）などの植物を利用した手仕事の技、
雪に閉ざされる地域が春を迎えるまでの祭りや芸能など、奥深い山々と盆地からなる会津ならではの民俗文化を紹介します。

部門展示室 考古　**よみがえる会津大塚山古墳**　6月29日（土）～　展示場所：部門展示室 考古

「東北地方で唯一の三角縁神獣鏡」をはじめとする、会津大塚山古墳の豊富な出土遺物が一堂に並びます。
日本古代史上でも重要な会津大塚山古墳とはどんな古墳なのか、最新の知見をもとにわかりやすく紹介します。



会津大塚山古墳出土三角縁神獣鏡
（会津若松市教育委員会蔵、当館寄託、国重文）

リニューアル！